

上越南地区商工会景況調査報告書

1. 調査要領

(1) 調査対象

- ア 対象地区 上越南地区（牧区、三和区、中郷区、板倉区、清里区）
イ 対象企業 同地区内商工会員
ウ 調査企業数 75 事業所（うち小規模事業者数 72 事業所）
エ 回答企業数 74 事業所
（回答率 98.7%）

(2) 調査対象期間

令和3年 7月～ 令和3年 9月
（調査時点： 令和3年7月1日）

(3) 調査方法

会員へ調査票を配布し回答を回収した。

※本報告書中の「DI」とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について増加（上昇、好転）企業の割合から減少（低下、悪化）企業の割合を差し引いた値を示すものである。

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
1 建設業	25	33.3%	25	33.8%
2 製造業	9	12.0%	9	12.2%
3 卸売業	3	4.0%	3	4.1%
4 小売業	19	25.3%	18	24.3%
5 飲食・宿泊業	9	12.0%	9	12.2%
6 サービス業その他	10	13.3%	10	13.5%
合計	75	100.0%	74	100.0%

	小規模企業	中小企業	大企業	合計
規模別回答企業数	72	2	0	74
構成比	97.3%	2.7%	0.0%	100.0%

2. 地域内産業全体の景況概要

前回調査では大幅に改善された結果にも関わらず、今回の調査では全ての全体指標において景況感は悪化となった。特に仕入価格の高騰やウッドショックなどによる採算悪化から、業況は厳しい状況にある。但し、緊急事態宣言等の解除に伴う行動制限の緩和やワクチン接種の進展から、今後サービス業を中心に経済は改善へ向かうことが期待される。一方で、冬季の感染再拡大や、仕入価格の高止まりによる事業収益への悪影響が、今後の景気回復に影響を与える可能性に留意する必要がある。

【売上高】

売上D I 値は、前年同期比（R2. 7月～9月）で△21.7ポイントであり、前期比（R3. 4月～6月）は△16.1ポイントと大幅に減少が見られる。今後の見通し（R3. 10～12月）では+1.0ポイント改善するものの、依然として低水準で推移する見通しとなっている。

前年同期比

増加	不変	減少
15	22	37

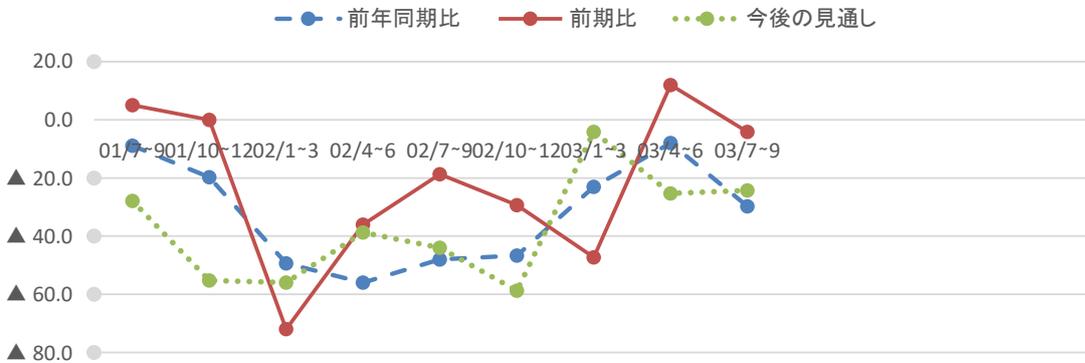
前期比

増加	不変	減少
23	25	26

今後の見通し

増加	不変	減少
9	38	27

売上DIの推移



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12	03/1-3	03/4-6	03/7-9				
前年同期比	▲ 8.9	▲ 19.7	▲ 49.3	▲ 56.0	▲ 48.0	▲ 46.7	▲ 23.0	▲ 8.0	▲ 29.7				
前期比	5.1	0.0	▲ 72.0	▲ 36.0	▲ 18.7	▲ 29.3	▲ 47.3	12.0	▲ 4.1				
今後の見通し	▲ 27.8	▲ 55.3	▲ 56.0	▲ 38.7	▲ 44.0	▲ 58.7	▲ 4.1	▲ 25.3	▲ 24.3				

【採算】

採算値については、前年同期比（R2. 7月～9月）で△4.4ポイントであり、前期比（R3. 4月～6月）では△5.5ポイントと共に減少となった。しかし、今後の見通し（R3. 10～12月）は+13.1ポイントと増加している。売上D Iと同じく全業種で、今後の見通しは不変及び悪化との回答が多く見られた。

前年同期比

好転	不変	悪化
13	29	32

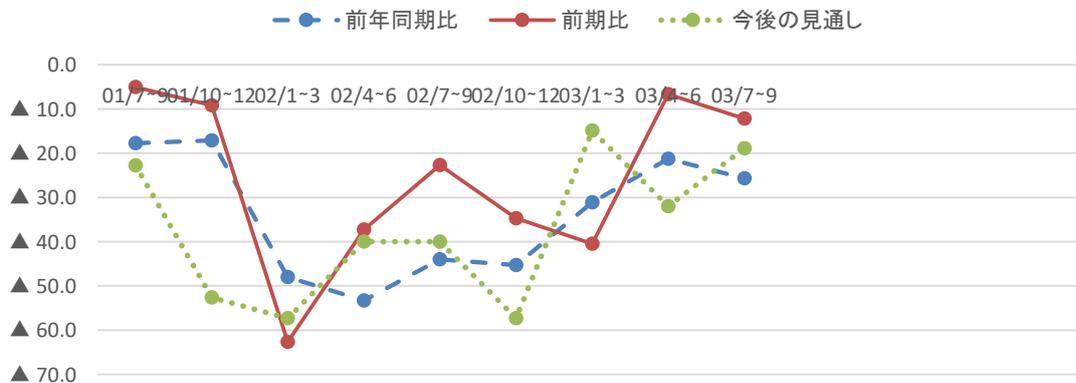
前期比

好転	不変	悪化
13	39	22

今後の見通し

好転	不変	悪化
8	44	22

採算DIの推移



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12	03/1-3	03/4-6	03/7-9				
前年同期比	▲ 17.7	▲ 17.1	▲ 48.0	▲ 53.3	▲ 44.0	▲ 45.3	▲ 31.1	▲ 21.3	▲ 25.7				
前期比	▲ 5.1	▲ 9.2	▲ 62.7	▲ 37.3	▲ 22.7	▲ 34.7	▲ 40.5	▲ 6.7	▲ 12.2				
今後の見通し	▲ 22.8	▲ 52.6	▲ 57.3	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 57.3	▲ 14.9	▲ 32.0	▲ 18.9				

【仕入単価】

仕入単価については、前年同期比（R2. 7月～9月）で+17.9ポイントであり、前期比（R3. 4月～6月）では+9.8ポイント、今後の見通し（R3. 10～12月）は+7.1ポイントと全てにおいてプラス幅が拡大した。特に、製造業及び飲食業の半数が今後の見通しで上昇との回答が多く見られた。

前年同期比

上昇	不変	低下
35	36	3

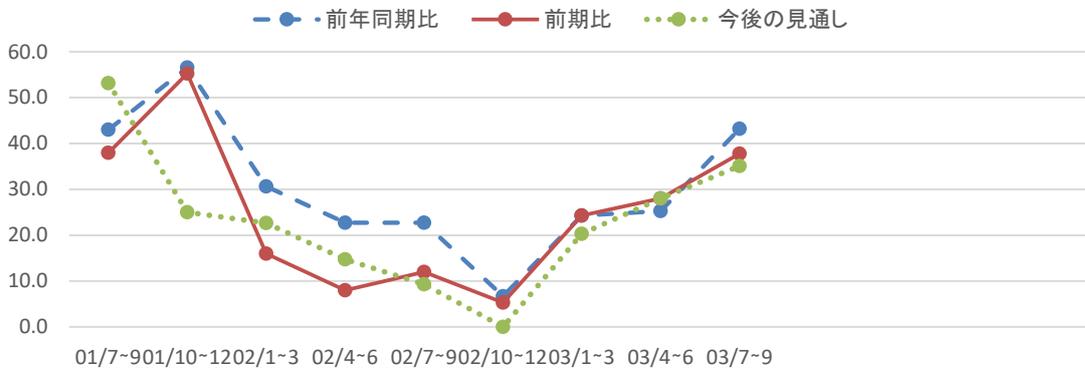
前期比

上昇	不変	低下
30	42	2

今後の見通し

上昇	不変	低下
29	42	3

仕入単価DIの推移



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12	03/1-3	03/4-6	03/7-9				
前年同期比	43.0	56.6	30.7	22.7	22.7	6.7	24.3	25.3	43.2				
前期比	38.0	55.3	16.0	8.0	12.0	5.3	24.3	28.0	37.8				
今後の見通し	53.2	25.0	22.7	14.7	9.3	0.0	20.3	28.0	35.1				

【販売（客）単価】

販売単価については、前年同期比（R2. 7月～9月）で+9.3ポイントであり、前期比（R3. 4月～6月）は横ばいであった。但し、今後の見通し（R3. 10～12月）は△2.7ポイントと減少を示している。今回の調査で前年同期比から今後の見通しまでの回答で不変もしくは低下が全体の約9割であり、小売業においては今後の見通しで低下するとの回答が調査企業の3割であった。

前年同期比

上昇	不変	低下
9	56	9

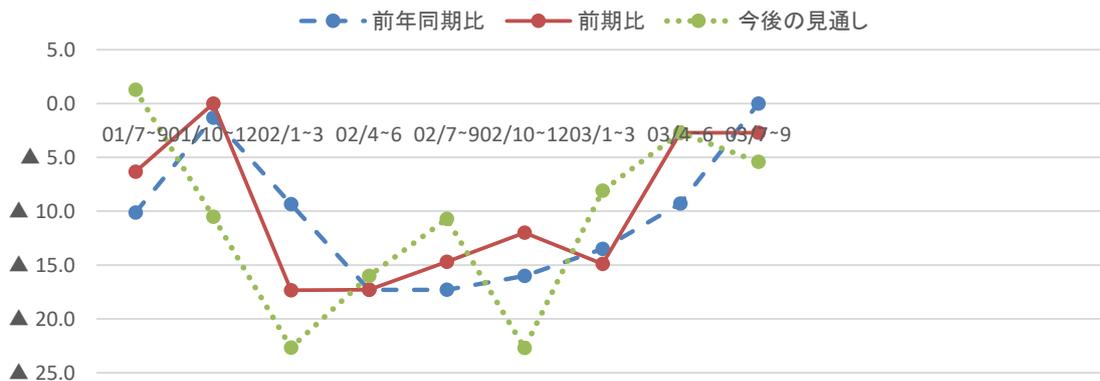
前期比

上昇	不変	低下
8	56	10

今後の見通し

上昇	不変	低下
8	54	12

販売（客）単価DIの推移



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12	03/1-3	03/4-6	03/7-9				
前年同期比	▲ 10.1	▲ 1.3	▲ 9.3	▲ 17.3	▲ 17.3	▲ 16.0	▲ 13.5	▲ 9.3	0.0				
前期比	▲ 6.3	0.0	▲ 17.3	▲ 17.3	▲ 14.7	▲ 12.0	▲ 14.9	▲ 2.7	▲ 2.7				
今後の見通し	1.3	▲ 10.5	▲ 22.7	▲ 16.0	▲ 10.7	▲ 22.7	▲ 8.1	▲ 2.7	▲ 5.4				

【資金繰り】

資金繰りについては、前年同期比（R2. 7月～9月）で△8.3ポイントであり、前期比（R3. 4月～6月）では△4.1ポイントとなり、さらに今後の見通し（R3. 10～12月）は△1.3ポイントと全てにおいて前回調査より悪化となった。昨年の同時期の調査とほぼ変わらない結果であり、今後の見通しでは殆どの調査企業が不変・悪化との回答であった。

前年同期比

好転	不変	悪化
4	51	19

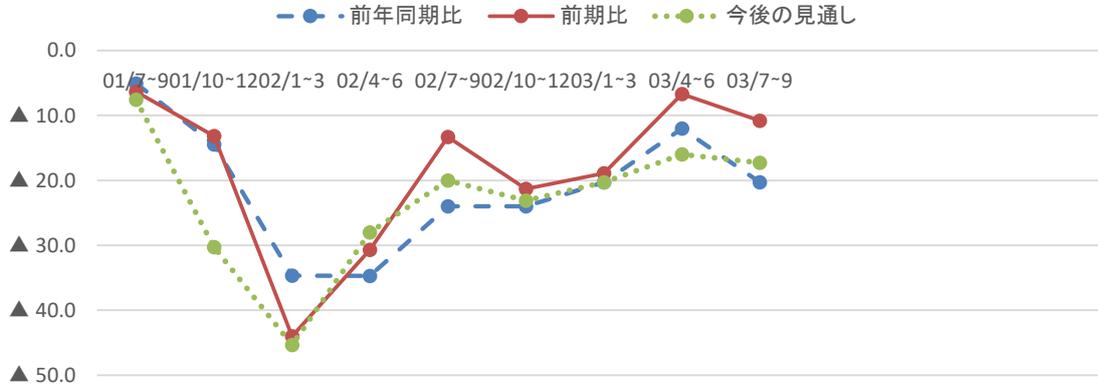
前期比

好転	不変	悪化
4	58	12

今後の見通し

好転	不変	悪化
3	55	16

資金繰りDIの推移



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12	03/1-3	03/4-6	03/7-9				
前年同期比	▲ 5.1	▲ 14.5	▲ 34.7	▲ 34.7	▲ 24.0	▲ 24.0	▲ 20.3	▲ 12.0	▲ 20.3				
前期比	▲ 6.3	▲ 13.2	▲ 44.0	▲ 30.7	▲ 13.3	▲ 21.3	▲ 18.9	▲ 6.7	▲ 10.8				
今後の見通し	▲ 7.6	▲ 30.3	▲ 45.3	▲ 28.0	▲ 20.0	▲ 23.1	▲ 20.3	▲ 16.0	▲ 17.3				

【雇用動向】

雇用動向については、前年同期比（R2. 7月～9月）で△0.1ポイントであり、前期比（R3. 4月～6月）では△4.1ポイントとなり、また今後の見通し（R3. 10～12月）でも△3.2ポイントであった。今回調査で95%以上の事業所が不変と回答している。

前年同期比

増加	不変	減少
2	64	8

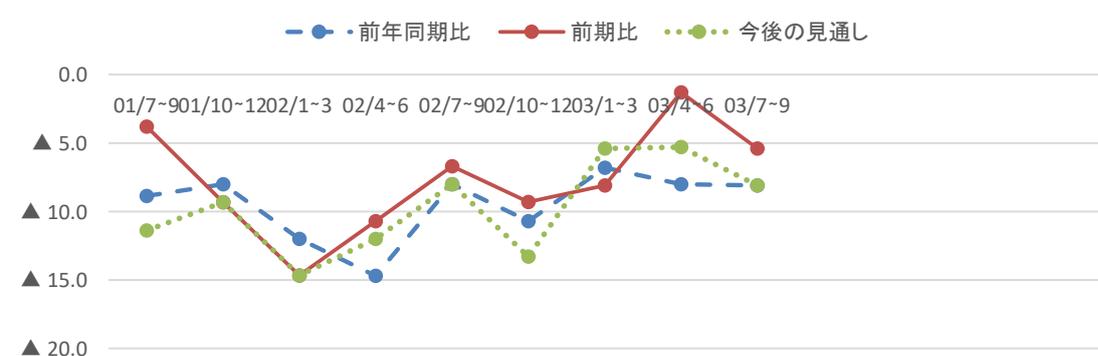
前期比

増加	不変	減少
2	66	6

今後の見通し

増加	不変	減少
3	62	9

雇用動向DIの推移



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12	03/1-3	03/4-6	03/7-9				
前年同期比	▲ 8.9	▲ 8.0	▲ 12.0	▲ 14.7	▲ 8.0	▲ 10.7	▲ 6.8	▲ 8.0	▲ 8.1				
前期比	▲ 3.8	▲ 9.3	▲ 14.7	▲ 10.7	▲ 6.7	▲ 9.3	▲ 8.1	▲ 1.3	▲ 5.4				
今後の見通し	▲ 11.4	▲ 9.3	▲ 14.7	▲ 12.0	▲ 8.0	▲ 13.3	▲ 5.4	▲ 5.3	▲ 8.1				

【景況判断】

景況判断については、前年同期比（R2. 7月～9月）で△11.1ポイントであり、前期比（R3. 4月～6月）では△9.7ポイントと共に低下した。しかし、今後の見通し（R3. 10～12月）は+1.3ポイント増加し改善傾向にある結果を示したが、悪化すると回答した事業所数では1件の増加となっている。

前年同期比

好転	不変	悪化
6	36	32

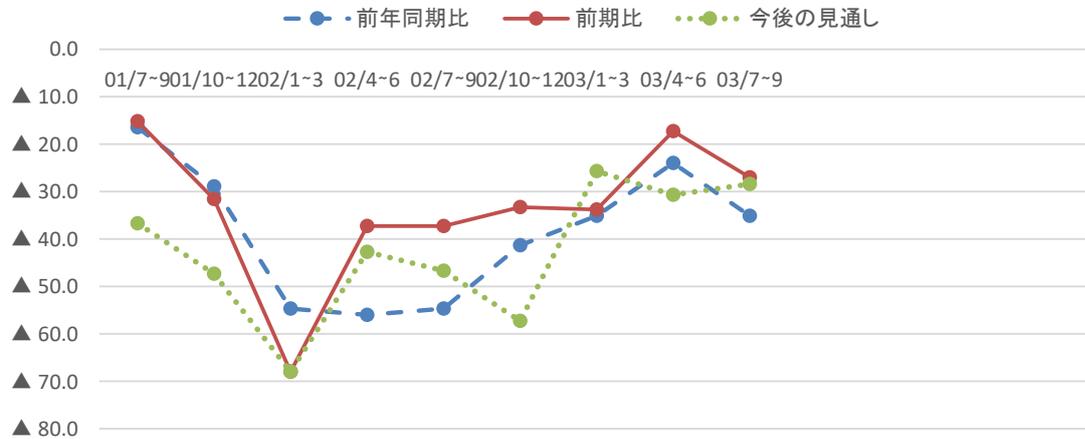
前期比

好転	不変	悪化
4	46	24

今後の見通し

好転	不変	悪化
4	45	25

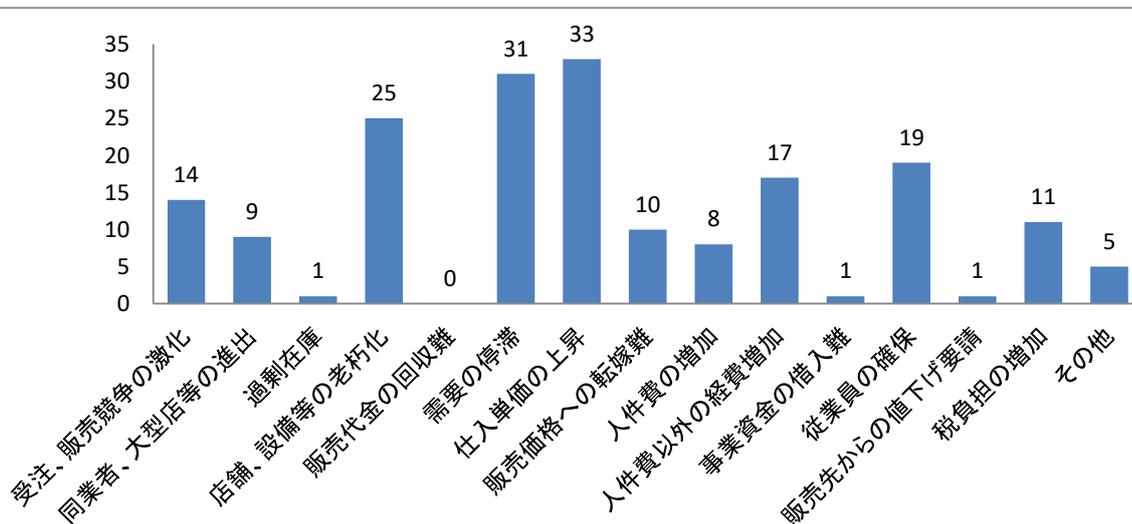
景況判断DIの推移



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12	03/1-3	03/4-6	03/7-9				
前年同期比	▲ 16.5	▲ 28.9	▲ 54.7	▲ 56.0	▲ 54.7	▲ 41.3	▲ 35.1	▲ 24.0	▲ 35.1				
前期比	▲ 15.2	▲ 31.6	▲ 68.0	▲ 37.3	▲ 37.3	▲ 33.3	▲ 33.8	▲ 17.3	▲ 27.0				
今後の見通し	▲ 36.7	▲ 47.4	▲ 68.0	▲ 42.7	▲ 46.7	▲ 57.3	▲ 25.7	▲ 30.7	▲ 28.4				

【経営上の問題点】

経営上の問題点については依然厳しい状況の中、今回調査では「仕入単価の上昇」が最も多く、次いで「需要の停滞」「店舗、設備等の老朽化」が問題点として挙げられていた。「需要の停滞」については、飲食・宿泊業を中心に問題点として挙げている事業所が多く見受けられた。また、建設業はウッドショックの影響で「仕入単価の上昇」との回答があった他に、「従業員の確保」を問題点として挙げた事業所が多く特徴的であった。今後の事業・経営において強化したい点・期待したい点等として、既存の商品のPRや販売方法の強化で販路拡大に期待したいなどが挙げられている。



3. 産業別景況概要

(1) 建設業

建設業においては、売上及び採算性と約4割の事業所が前年同期比・前期比で好転したとの回答があったが、今後の見通しになると逆に4割の事業所が悪化するとの回答で、今後の経営状況は厳しいと見受けられる。経営上の問題点に関しては、前回調査と同じく材木等の価格の高騰による「仕入単価の上昇」との回答が目立ち、次に「従業員の確保」となっている。これについては従業員の高齢化や後継者不足からと思われる。景況判断に関しては、来期の景況について全調査企業で悪化もしくは不変との回答となった。

(2) 製造業

製造業の売上については、調査した事業所の4割が前年同期比より悪化との回答であった。さらに、今後の見通しにおいても半数が悪化するとの回答が目立った。また、仕入単価においては前年同期比・前期比・今後の見通しで上昇するとの回答した事業所も多く見られた。経営上の問題点としても、「仕入単価の上昇」「需要の停滞」を挙げる事業所が多く挙げられた。

(3) 卸・小売業

卸売業においては売上・採算性ともに半数の事業所が前期比より好転との回答であったが、小売業では前年同期比で約8割の事業所で売上が減少したとの回答。さらに、今後の見通しにおいても3割の事業所で売上が低下するのではないかと先行き不安視する声が目立った。経営上の問題点としては卸売業は「仕入単価の上昇」を挙げていた事業所が多く、小売業においては前回調査と同じく「需要の停滞」を挙げていたほか、「店舗、設備等の老朽化」を問題点として多く挙がっていた。

(4) サービス業（飲食・宿泊を含む）その他

サービス業においては、売上及び採算性は大方の事業所が前年同期比から今後の見通しまで減少あるいは悪化傾向にあるとの回答が目立った。しかし、飲食業においては緊急事態宣言等の解除に伴う行動制限の緩和や新型コロナの感染が沈静化するなか、これからの忘年会需要に期待している。さらに店側も引き続き感染対策を徹底しながらお客様を迎え入れる体制は整っている。また、飲食・宿泊業で最も多い経営上の問題点に上げられていたのは前回の調査同様に「需要の停滞」であり、サービス業においても前回調査同様に「店舗、設備等の老朽化」が多く挙げられた。

4. 自由意見

今後の事業・経営において強化したい・期待したい点（設備投資・販路開拓等）や現在の経営環境下において貴社が感じておられる自由意見

【 建設業 】

- ・従業員の確保
- ・設備投資（車両入替を検討中）
- ・人手不足（外注業者）
- ・職人不足がこのまま進むと影響が出てくる
- ・販路開拓

【 製造業 】

- ・仕入単価上昇するが販売価格への転嫁難。事業承継の問題
- ・製品不足、価格の上昇、販売価格の上昇、価格の乱れがまだあり先が不透明
- ・コロナが終息した後の生活習慣の変化に注視している

【 卸・小売業 】

- ・酒類販売ですが元々粗利の少ない商品の上にコロナ禍ではありますが、インターネットで売上高は維持しているもののクレジット決済や宣伝費等で必要以上の経費が掛かるので精査しながら改善していきたい
- ・販路の開拓

【 サービス業（飲食・宿泊を含む）その他 】

- ・コロナで売上が減少したので、テイクアウト商品として「スパイスチキン」を開発した。軌道に乗せて設備投資をPayしたい。手の腱鞘炎で休業することがあり売上は減少した
- ・志村けんさんが亡くなった時は一気に客足が遠のいたが徐々に取り戻ってきている。まだまだコロナ禍の影響で経営環境は厳しいので、色々新たなことにチャレンジして集客につなげていきたいと思っています
- ・強豪がひしめく場所で経営しており、差別化を図るために育毛メニューと着付けを始める。商工会の支援を受けながら設備投資を計画している
- ・コロナによる客の減少
- ・少子高齢化による利用者の減少